

各位



平成 30 年 5 月 11 日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証第一部)

問合せ先：執行役員 管理本部長 植松 崇夫

(TEL：03-5339-2109)

繰延税金資産の計上、通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期において、下記のとおり繰延税金資産を計上する予定であります。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成29年12月29日に公表いたしました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 繰延税金資産の計上について

前連結会計年度において、デジタルマーケティング関連事業においては、販売ターゲット層の変更により販売が低迷し、当初策定した計画に対して大幅に遅れる結果となったため、当社連結子会社のスターティアラボ株式会社が保有する固定資産について収益性の低下など減損の兆候が認められたことから、当該資産の帳簿価額の全額を減損損失として計上し、同社の繰延税金資産についても取り崩しを行いました。

しかしながら、当連結会計年度においては、デジタルマーケティング関連事業において、当初策定した計画に対して業績が堅調に推移したため、平成30年3月期及び今後の業績動向を勘案し、同社の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討いたしました結果、繰延税金資産の計上をすることといたしました。

これにより、平成30年3月期において、法人税等調整額（△は利益）を△110,275千円計上いたします。

II. 連結業績予想の修正について

1. 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	11,000	270	270	415	41.08
今回発表予想	11,058	358	376	613	60.74
増減額	58	88	106	198	
増減率	0.5%	32.6%	39.3%	47.7%	
前期実績	10,282	265	285	5	0.58

2. 修正の理由

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高において、ITインフラ関連事業が予算に対し好調に推移し、特にMFP（マルチファンクションプリンター）、NW（ネットワーク）機器関連が収益に貢献したことに加え、販売費及び一般管理費において、デジタルマーケティング関連事業及びITインフラ関連事業ともに、効率的な資源配分を行いコスト削減に努めたことにより、売上高、営業利益及び経常利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、「I. 繰延税金資産の計上について」の記載のとおり、法人税等調整額を計上すること等により、前回予想を上回る見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上